

## 横浜はじめて物語

ラブリー横浜散策

講師

シマダ マサコ  
嶋田 昌子 (横浜ボランティアガイド協議会会長)

時間

10:30～12:00

受講定員

30人

受講料

7,500円

■テキスト：『山手の丘の物語』(横浜市緑の協会) ¥300(税込)  
[第1回受付で販売します。]

■教材：年表 ¥200(税込)[希望者には第1回受付で販売します。]

※テキスト・教材をすでにお持ちの方は、ご持参ください。

■ご持参いただくもの：筆記用具、テキスト、年表

## スケジュール

①	10月 7日 木	万国博覧会をめぐる
②	10月14日 木	フランスでの出来事
③	10月21日 木	フィールドワークI「山手の小道」
④	10月28日 木	上海・横浜、二都物語
⑤	11月 4日 木	フィールドワークII「中華街」
	11月11日 木	予備日

※第3回と第5回のフィールドワークは、現地集合・現地解散(所要時間2時間30分程度)となります。詳しくは講座の中でご説明します。

※予備日は、フィールドワークが天候により催行できなかった場合の振替日です。

## 講座内容

開港150年を記念して博覧会が開催され、昨年の横浜は華やきました。開港100年の節目に作られた「横浜市歌」には、江戸時代の小さな横浜村の様子が歌われています。横浜は歴史の表舞台におらずと登場しました。一角には、欧米さながらの町が形成されました。攘夷事件が多発し、外国の軍隊が駐屯した時期もありました。一方、西欧の人々にとって19世紀の日本は憧れの国、多くの旅人がその玄関であつた横浜を訪れました。そのジャポニズムに火をつけたのがパリの万国博覧会でした。地球の東と西、そして上海を入れて、写真・浮世絵などを手掛かりに当時の横浜を実感してみたいと思います。

## 講師プロフィール

横浜市出身。日本女子大学助手、市教育委員会社会教育指導員などを務め、学習講座の企画運営、CATVの番組制作など地域活動に従事。92年横浜シティガイド協会を創設、以後15年に亘り会長を務め、現在、横浜ボランティアガイド協議会会長。『よこはまを生きる女たち』『横浜開化錦絵を読む』(いずれも共著)など著書多数。

市民講座

文学

歴史と文化

趣味と実用

創作と生活

実務・検定対策

ふれあいと育み

健康とスポーツ

宗教と生きがい

語学

パソコン